

## 令和4年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 模擬講義・レポート

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

### 【出題の意図・評価ポイント】

大学で講義を受ける状況を想定し、その講義を受け身で聞き流すのではなく、積極的に理解し、発展的な学修をする基本的資質をはかることを目的とする。

具体的には、講義の内容を正確に聴き取り、メモを取る力とその内容の理解度を測る。また、講義を受けることで浮かんでくるであろう発展的な「問い」に関連する複合的な資料を読み、分析・統合・応用等を行う思考力、そして決められた字数の中で、的確に表現する力を評価する。

#### 問1

講義の中で重要な情報を的確にメモをする力を測る。

#### 問2

講義中のAIが飛躍的な発展を遂げたことの説明と関連して、その発展の要因であるディープラーニングが発達することが可能になった社会的背景について、他の資料を基に考察する力、及び制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

#### 問3

人口動態予想のデータを分析し、そこから予想される社会問題の解決に、講義で学んだ事例を基に、AIがどのように活用できるかを考察する力、及び制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

#### 問4

講義で取り上げたAIの危険性について、さらに詳しく述べた英文の資料を提示し、その英文の理解度と日本語で説明する表現力を測る。

#### 問5

講義内容と2つの資料を関連させて、高校において「総合的な探究の時間」が実施される理由を、「AI時代に必要な力」という観点から考察する力、及び制限字数内での的確に説明する表現力を測る。

令和4年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 総合問題 I

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問，照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

【出題の意図・評価ポイント】

問題1の課題は、「社会の変化と教育」というテーマに関連した，評論文や公的機関からのデータ，新聞記事等からなる3編の日本語と図式で構成され，それぞれを関連させて理解を深める形式になっている。それぞれの資料の内容に対する読解力，および3編の日本語と図式の内容を融合した問題に対する思考力，制限字数内でまとめる表現力等を測る。

問題2, 3, 4は数学の内容の出題で，標準的な問題の出題により基礎事項の理解度を測り，正しく論証や計算を行う力を測ることを意図した。

1

問1

標準的な漢字の知識を試すとともに，文脈の理解度を測る。

問2

資料1の主旨を理解し，図式の中にまとめる問題。読解力及び図式化する力を測る。

問3

データを分析し，事例の根拠として活用する問題。データ分析力及び表現力を測る。

問4

資料2の主旨を理解し下線部(1)を，資料1と関連づけて説明する問題。資料を関連づけて考える思考力及び表現力を測る。

問5

資料3の主旨を理解し，的確に説明する問題。読解力及び表現力を測る。

問6

資料1～3の論旨を踏まえ，「学生としてこれから身につけるべき力とは何か」について説明する問題。それぞれの資料を理解する読解力，資料を関連づけて考える思考力および制限字数内でまとめる表現力を測る。

2

図形と計量の基本事項についての理解度と計算力を測る。

3

微分法の基本事項についての理解度と計算力を測る。

4

整数の性質の基本事項についての理解度を測る。また，証明を通して論証を行う力を測る。

令和4年度「志」特別選抜 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

文系 総合問題Ⅱ

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問，照会には一切回答しません。
- ※2 配点率は入試問題に記載してあります。

【出題の意図・評価ポイント】

問題は大問3題で構成し，英語・日本語で記述されたそれぞれの文章を読解する力，思考する力，および英語や日本語での確に表現する力を問うことを意図した。

1

問題文は，社会のさまざまな問題に直面した際に，規範や慣習が集団の多様な意見を取りまとめて調整するのに果たす役割について論じた英文である。

問1

問題文中の下線部の英文の内容を文脈から理解する力，その内容を制限字数内での確にまとめる日本語の表現力を測る。

問2

ハーバード大学の教授が自分の授業を受講している学生に要請した内容をパラグラフ全体から包括的に理解する英文の読解力，および制限字数内での確に記述する日本語の表現力を測る。

問3

英語の基礎的な語彙力や構文の知識に基づき，調整(coordination)が必要な問題に直面した時に慣習(conventions)が果たす役割について論じた個所を特定し，英文を読解する力，および制限字数内での確に記述する日本語の表現力を測る。

問4

パラグラフ全体の包括的な理解に基づき，先着順着席ルールに関して筆者が指摘している問題点を読み取り，日本語での確に説明する表現力を測る。

2

問題文は，アフガニスタンで2018年2月から実施されたモバイル・ライブラリー（移動図書館）のプロジェクトに関する日本語の新聞記事の一部である。

指示された4つのポイントを記事全体から読み取り，箇条書きではなくまとまった文章として，制限語数程度での確に記述する英語の表現力を測る。

3

問題文は3種類あり、質的研究に関する日本文と英文、およびそれらの文章に関して交わされた日本語の会話文である。

問1

問題文を読んで、複数の文章を関連させて包括的に理解する力、意味的なつながりの理解力、および日本語での的確に記述する表現力を測る。

問2

問題文を読んで、複数の文章を関連させて包括的に理解する力、意味的なつながりの理解力、および英語での的確に記述する表現力を測る。

問3

「2000年以降の日本の女流作家は、女性をどのように描いてきたか。」という問いを立てる場合、作家をどのように特定し、どのような視点から、どのようなことを研究するかについて、制限字数内で論理的、具体的に記述する日本語の表現力を測る。